

文学研究科

研究科の概要

日本、東洋、西洋各地域の文学、言語、美術の各分野における研究に取り組みます。

国文学専攻

【博士前期課程・博士後期課程】

上代から現代に至る日本文学、日本語学、日本語教育、中国文学(漢文学)の科目を開設。幅広い分野の専任教員から適切な指導を受けることができます。成蹊大学大学院・中央大学大学院・青山学院大学大学院・國學院大學大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があり、大学の枠組みを超えた交流が可能です。

英文学専攻

【修士課程】

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象を中心に深く学ぶとともに、より広範な文化事象などの関連分野についても学ぶ機会を設けることにより、豊かな人間性を涵養し、社会の様々な分野で活躍するための能力を育むことができますようにカリキュラムを編成しています。また、中央大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

美術史学専攻

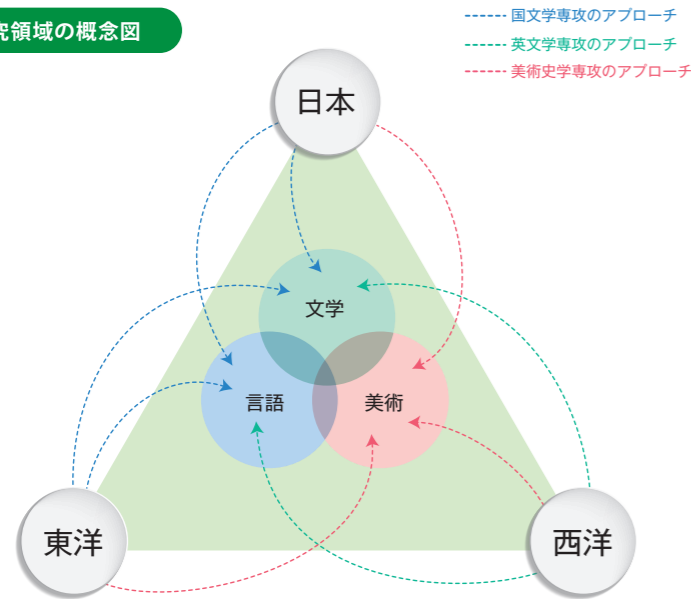
【博士前期課程・博士後期課程】

日本美術史、日本近代美術史、仏教美術史、西洋美術史、西洋近代美術史、芸術学の専任教員のもとに、専門的な研究を深めます。実作品の調査を重視し、実証的な研究方法を身につけます。また、隣接領域を学びつつ、異なる関心を持つ学生同士が切磋琢磨できる環境も特徴です。青山学院大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

募集人数

修士課程	国文学専攻	10名
	英文学専攻	6名
博士前期課程	美術史学専攻	6名
博士後期課程	国文学専攻	3名
	美術史学専攻	2名

研究領域の概念図



----- 国文学専攻のアプローチ
 ----- 英文学専攻のアプローチ
 ----- 美術史学専攻のアプローチ

大学院での高度な研究を支える図書館

和書、洋書、雑誌及び雑誌バックナンバー等、豊富なコレクションを所蔵。更に電子ブックや電子ジャーナル、国内外の文献調査に有用なデータベースを数多く提供し、大学院生の研究活動を支える充実した図書館です。



養成する人材像

国文学専攻

国際的に活躍できる高度専門職業人として。研究者として。

高度な学識と研究能力を生かして、社会の各分野で指導的役割を果たすことのできる人材を育てます。また、研究者として自立できるだけの実力を育みます。

英文学専攻

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象について深く理解する人材の育成。

高度な英語運用能力と、英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象についての広い学識を身につけた研究者、中学校・高等学校教諭(英語)のほか、広く海外で活躍できる人材を育てます。

美術史学専攻

高度な専門性と実践的能力によって社会に貢献する人材。

研究を通して身につけた専門知識、調査能力、表現力を活かし、美術館、博物館をはじめ、公的機関、企業において、多様な文化・芸術を広く社会に伝える人材を育てます。

文学研究科

国文学専攻

※2023年度の内容であり、2024年度は変更になる場合があります。

専任教員プロフィール

池田 三枝子

専門分野：万葉集を中心とする上代文学
 最近の研究テーマ等：「文学園」「歌壇」等と称される人的ネットワークと、それを基盤として醸成される歌表現についての研究

大橋 直義

専門分野：中世日本文学・宗教文献学・宗教文化史学
 最近の研究テーマ等：寺社縁起(絵巻・掛幅縁起絵・参詣曼荼羅)および寺誌、軍記物語・私撰国史・歴史物語・系図・血脈など、日本中世の歴史叙述とその書物についての研究。巡礼・参詣の史的研究。地域史研究と文化財(殊に古典籍・聖教)研究の架橋

佐藤 悟

専門分野：近世文学
 最近の研究テーマ等：柳亭種彦、草双紙を中心とした近世の出版文化、検閲や出版システムが文学に与えた影響について、絵本の研究、画題についてなど

田中 靖彦

専門分野：漢文学、中国史学史
 最近の研究テーマ等：①中国における三国時代・三国人物像の変遷、②宋代における正統論の展開と三国論

棚田 輝嘉

専門分野：日本近代文学 特に「ことば」という文学の営みについて
 最近の研究テーマ等：中原中也、樋口一葉、「詩」という表現の意味、作品の生成過程と、その背後にある人間という身体との関連、ポップカルチャーとしての文学・マンガ・アニメ・フォークソングの意味など

福嶋 健伸

専門分野：日本語学、主に文法
 最近の研究テーマ等：日本語のテンス・アスペクト・モダリティの変遷に関する研究

舟見 一哉

専門分野：和歌文学、中古文学、書誌学、文献学
 最近の研究テーマ等：中古中世における古典学の総体解明。とくに古典籍・古筆切を利用し、六条藤家の古典学、古今集注釈史を対象とする

ブルナ ルカーシュ

専門分野：日本近代文学、比較文学、翻訳研究
 最近の研究テーマ等：外国文学、ことにロシア文学が日本の近代作家に与えた影響、明治・大正期の翻訳文学の研究。また、日本におけるチェコ文学の受容、チェコ文学にみられるジャボニズムの表象などを研究

山内 博之

専門分野：日本語教育
 最近の研究テーマ等：①日本語教育における語彙シラバスの作成に関する研究 ②日本語教育文法に関する研究 ③日本語教育スタンダードに関する研究

科目紹介 [一部抜粋]

■ 中古文学研究 A・B

中古の和歌・物語に関する通説は、書誌学・文献学の観点から再考しうる。古典籍・古筆切の実地調査を通して、新見を創出する手法を学ぶ。

■ 近世文学研究 A・B

近年、その概念が大きく変わってきた草双紙についての概説を行う。草双紙は赤小本、赤本、黒本青本、黄表紙、合巻と発展を遂げたと理解されてきたが、それらが並立的に展開していったことを論証する。

■ 近代文学研究 A・B

マンガという「サブカル」文化は、今やメジャーカルチャーであり、メインカルチャーでもあるという「大衆性」を備えている。同時に、時代の先端を行くカウンターカルチャーとしての側面も持っている。こうした点から、マンガが現在どのように「受容」されているかということについて考えてみたい。

■ 日本語学研究 A・B

A・Bを通し、修士論文執筆計画を立て、修士論文の最も中心となる部分に磨きをかける。具体的には、研究発表をし、その後、投稿論文に仕上げるという作業を行う。実際に、研究会で発表し、学術雑誌(『実践国文学』等)に投稿してもらうことが本授業の特徴である。

■ 漢文学研究 A・B

中国の歴史と歴史観について講義する。中国の歴史の概説を学ぶのと並行して、中国における歴史書の筆法や、正統論の概念について検討する。

■ 中世文学特殊演習 A・B

書物(古典籍・寺院経蔵文献)に軸足を置いた文化財の俯瞰的研究。ある寺に蔵される書物のみならず、当該地域に所在する文化財を俯瞰的に見わたす方法を具体的に学ぶ。その過程において、寺院経蔵調査・実地的文化財調査を含む学術的アプローチに習熟する。

■ 日本語日本文学研究 C・D

この授業では、同時代の社会的状況や思想的風潮を視野に入れながら、1906(明治39)年の1月から12月までに主な文芸雑誌に発表された短編小説を読み、この一年の日本文学と日本文壇のあり方について考える。

■ 日本語教育演習 A・B

Aで類似表現研究の方法を体得し、Bで類似表現の使い分けに関する指導書を作成する。日本語教師が参考にできる指導書にすることを考え、内容の確かさと文章のわかりやすさが両立した原稿の作成を試みる。

カリキュラム

博士前期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学研究A・B	選択各2単位
上代文学演習A・B	選択各2単位
中古文学研究A・B	選択各2単位
中古文学演習A・B	選択各2単位
中世文学研究A・B	選択各2単位
中世文学演習A・B	選択各2単位
近世文学研究A・B	選択各2単位
近世文学演習A・B	選択各2単位
近代文学研究A・B	選択各2単位
近代文学演習A・B	選択各2単位
日本語学研究A・B	選択各2単位
日本語学演習A・B	選択各2単位
日本語教育研究A・B	選択各2単位
日本語教育演習A・B	選択各2単位
漢文学研究A・B	選択各2単位
中国文学演習A・B	選択各2単位
日本語日本文学研究A・B・C・D・E・F	選択各2単位
日本語日本文学演習A・B・C・D・E・F	選択各2単位

博士後期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学特殊演習A・B	選択各2単位
中古文学特殊演習A・B	選択各2単位
中世文学特殊演習A・B	選択各2単位
近世文学特殊演習A・B	選択各2単位
近現代文学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語教育学特殊演習A・B	選択各2単位
中国文学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語学特別研究A・B	選択各2単位
日本文学特別研究A・B	選択各2単位

専任教員プロフィール

稲垣 伸一

専門分野：19世紀アメリカ文学・文化
最近の研究テーマ等：19世紀アメリカの文化（宗教・社会改革運動・科学思想など）と同時代の文学作品との相互関係

猪熊 作巳

専門分野：生成文法理論・言語の生物学的基盤
最近の研究テーマ等：名詞句の内部構造と意味解釈・進化的に見た言語理論の最適性

佐々木 真理

専門分野：19～20世紀のアメリカ文学
最近の研究テーマ等：19世紀後半から20世紀前半にかけての女性文学と時代変容の関係性

志渡岡 理恵

専門分野：18～20世紀イギリスの女性作家
最近の研究テーマ等：女性の旅行記・冒険小説と帝国主義の関係、少女文化と教育機関の関係

島 高行

専門分野：近代イギリス小説
最近の研究テーマ等：探偵小説とゴシック小説の関係性

諏訪 友亮

専門分野：近代アイルランド文学・文化と英語圏詩
最近の研究テーマ等：アイルランド文学における近代的諸概念とファシズムの関係、世界文学としての英語圏詩

土屋 結城

専門分野：19世紀イギリス小説
最近の研究テーマ等：トマス・ハーディを中心とする19世紀イギリス小説に描かれる共同体と個人の関係

難波 雅紀

専門分野：17～19世紀アメリカ文学・文化。特にニューイングランド・ビューリタニズム文学
最近の研究テーマ等：ビューリタニズムの宗教言説とアメリカン・アイデンティティとの関連性

深瀬 有希子

専門分野：現代アメリカ文学・文化
最近の研究テーマ等：おもにアフリカ系アメリカ文学・文化作品を対象とした、人種・民族・ジェンダーのパフォーマティヴィティの考察

村上 まどか

専門分野：英語の動詞に関する統語論・生成文法
最近の研究テーマ等：英語の仮定法・命令法、文否定辞 not、それらを敷衍して欧州諸語の動詞移動

柳田 亮吾

専門分野：社会言語学、語用論、(批判的)談話研究
最近の研究テーマ等：政治、ジェンダーとイン／ボライトネス

カリキュラム

修士課程 カリキュラム

科目名	単位数
英語圏文学・文化研究A・B・C・D	各2単位
英語圏文学・文化研究演習A・B・C・D	各2単位
言語学研究A・B・C・D	各2単位
言語学研究演習A・B・C・D	各2単位
ジェンダー表象研究A・B・C・D	各2単位
ジェンダー表象研究演習A・B・C・D	各2単位
言語と文化A・B	各2単位
言語と文化研究A・B	各2単位
専門演習	4単位

科目紹介 [一部抜粋]

英語圏文学・文化を探究する科目

- 英語圏文学・文学研究 A・B・C・D
- 英語圏文学・文化研究演習 A・B・C・D

グローバルな英語圏におけるさまざまな文化事象について分析・考察し、国際社会に関する知識と理解を深めます。

言語を探究する科目

- 言語学研究 A・B・C・D
- 言語学研究演習 A・B・C・D

言語の成り立ちや構造、社会と言語との関わりについて分析・考察し、広く言語に関する知識と理解を深めます。

ジェンダー表象を探究する科目

- ジェンダー表象研究 A・B・C・D
- ジェンダー表象研究演習 A・B・C・D

さまざまな文化事象をジェンダーの視点から領域を横断して分析・考察し、ジェンダーに関わる問題の文化的・歴史的文脈についての知識と理解を深めます。

言語と文化を多角的な視点から探究する科目

- 言語と文化 A・B
- 言語と文化研究 A・B

言語と文化に関するさまざまな問題について、広く社会との関わりから分析・考察します。

専任教員プロフィール

児島 薫

専門分野：日本近代美術史
最近の研究テーマ等：日本近代美術における女性像についてのジェンダー論、ポスト・コロニアリズムの観点からの分析および東アジア美術との比較、女性の作家について

駒田 亜紀子

専門分野：西洋中世美術史
最近の研究テーマ等：①中世後期（13-15世紀）における彩飾写本の新興分野・俗語写本の挿絵彩飾、②十字軍遠征とフランス語聖書彩飾写本の普及・伝播との関わり

齋藤 達也

専門分野：西洋近代美術史
最近の研究テーマ等：①19世紀フランスの美術批評、②西洋における日本美術の受容（ジャポニスム）、③印象派の芸術

椎原 伸博

専門分野：美学・芸術学
最近の研究テーマ等：①現代芸術論、②スペイン市民戦争の写真、③オペラ研究、④アートマネジメントの理論的研究

馬淵 美帆

専門分野：日本絵画史
最近の研究テーマ等：江戸時代絵画と俳諧文化の関わり、18世紀京都画壇の画家たち、英一螺作品の評価と受容

武笠 朗

専門分野：日本彫刻史
最近の研究テーマ等：平安後期における和様彫刻の成立と展開、後白河上皇と蓮華王院造像、浄土の造形、円派仏師研究

科目紹介 [一部抜粋]

■ 日本美術史特論 A

江戸時代の絵画をめぐる諸問題について論じる。具体的な作品を取り上げ、画面の分析や文献資料の読解等に基づき、その特色を検証する。それを通じて、美術史学の方法論への理解を深める。

■ 日本近代美術史特論 A

東アジアの美術と日本近代美術との関わりについて考察し、幅広い視野のもとに日本美術をとらえなおす。適宜、開催中の展覧会を見学し、作品研究を深める。

■ 東洋美術史特論 A

作品を見ること、作品とそれを取り巻くさまざまな情報を把握分析する力を養う。美術史学の方法論を検討しつつ、中国絵画史の諸問題を具体的作品に即して考察する。

■ 仏教美術史特論 A・B

日本・東洋の仏教美術史及び彫刻史の諸問題を検討する。さまざまな方法論を理解し、作品に対するアプローチの仕方を知ること到達目標とする。

■ 西洋美術史特論 A・B

Aでは、西洋美術における歴史画および静物画・寓意画をめぐる問題について、Bでは、西洋美術における図像分析と図像プログラム、そしてこれに関わる作品受容について考える。

■ 西洋近代美術史特論 A・B

西洋近代美術への様々なアプローチを学ぶ。日本語と英語による研究文献の読解を通じて、知識の幅を広げながら、研究方法と論文執筆方法を修得する。

■ 芸術学特論 A

アートの領域の広がりや、文化政策、アートマーケット、社会からのニーズ等から考察し、それらが私たちの人生・生活を創造的に組み直すツールであることを確認する。

■ 仏教美術史演習 A・B

Aでは、古記録・古文書の読み方などを、Bでは関連諸学との関わり、經典等仏教文献の読み方、作品の実地調査・見学の仕方、作品の調書の書き方などを身につける。

■ 西洋美術史演習 A

西洋美術史研究の基礎的方法論と、対象に適した調査・研究方法を実践的に学ぶ。各自の研究テーマに沿って、資料収集・調査、資料・史料の解析・読解等を段階的に修得する。

■ 西洋近代美術史演習 A・B

西洋近代美術を対象とする研究方法を、各自の関心のある具体的なテーマに即して学ぶ。専門的な文献の探索手段、オンライン・リソースの活用法、作品分析と論述の技術などを身につけることで、独自性のある研究を発展させる。

■ 総合演習

修士論文執筆予定者が、各自の研究の成果を持ち寄り、口頭発表を行う。また、すべての分野の教員・院生が参加し、相互に討論検討する。自らの研究状況を確認するとともに、他分野の視線によって、新たな問題点を見だし、研究内容をさらに深化発展させる。

■ 日本美術史特殊研究 A

受講者の研究テーマに即した内容で実施する。各受講者の研究テーマに関わる文献資料を読解しつつ、研究上の課題の整理と解決を目指す。状況に応じて、関連する展覧会見学や作品調査を行い、研究を深める。

■ 日本近代美術史研究指導特殊演習A

日本近代美術に関しては作品、資料、文献に数多く接することができるので、それらを整理しながら批判的に読み解くことを学ぶ。主体的に研究する姿勢を身につけていけるよう、実際の論文執筆を個人指導する。

■ 芸術学研究指導特殊演習 A

「都市の美学」という問題意識にたち、その都市形成の歴史を踏まえた上で、そこで開花したさまざまな芸術活動を分析し、その都市が有する独特の美意識について検討する。

カリキュラム

博士前期課程 カリキュラム

科目名	単位数
日本美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
日本近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
東洋美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
仏教美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
芸術学特論A・B・C・D	選択各2単位
民俗芸能特論A・B・C・D	選択各2単位
日本美術史演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史演習A・B	選択各2単位
仏教美術史演習A・B	選択各2単位
西洋美術史演習A・B	選択各2単位
西洋近代美術史演習A・B	選択各2単位
芸術学演習A・B	選択各2単位
総合演習	選択2単位
特殊研究A・B・C・D	選択各2単位
特殊演習A・B・C・D	選択各2単位

博士後期課程 カリキュラム

科目名	単位数
日本美術史特殊研究A・B	選択各2単位
日本近代美術史特殊研究A・B	選択各2単位
仏教美術史特殊研究A・B	選択各2単位
西洋美術史特殊研究A・B	選択各2単位
芸術学特殊研究A・B	選択各2単位
日本美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
仏教美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
西洋美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
芸術学研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
研究方法特殊研究	選択2単位

大学院生のための 様々な制度をご用意しました！

TOPICS 1

長期履修制度

TOPICS 2

各種
奨励金制度

TOPICS 3

リサーチ・
アシスタント制度

TOPICS 4

学外研究資金の
獲得支援

TOPICS

1 長期履修制度

https://www.jissen.ac.jp/learning/support/index.html#anc2_1



「長期履修制度」とは、就職や育児・介護等の事情があり、大学院所定の標準修業年限で修了することが困難な社会人にも修学機会を拡大するための制度です。修士課程・博士前期課程において通常2年の修業年限を3年または4年に延長し、大学院生のライフイベントによる状況の変化に、柔軟に対応します。

対象

修士課程・博士前期課程に入学する者のうち、以下のいずれかに該当する者を対象とします。

- 職業を有している者（臨時雇用者及び自営業従事者を含む）
- 育児あるいは介護等の事情を有する者
- その他、研究科委員会で相当と認められた者

申請時期・決定

申請は出願時のみ受け付けます。出願時に申請しない場合、原則としてその後の変更は認めません。申請可否は、合否判定とともに決定します。

修業年限・在学年限

修業年限：3年または4年とします。

在学可能年限：修業年限が3年の者は4年、修業年限が4年の者は5年とします。

履修単位数制限

1年あたりの履修単位の上限は定めません。

修業年限の変更／長期履修学生への変更について

1 修業年限の変更を希望する場合

長期履修学生として入学後、やむを得ない理由で修業年限の変更を希望する者は、研究科委員会で認められた場合に限り、2年次進級時に修業年限変更の申請をすることができます。

2 標準学生から長期履修学生への変更を希望する場合

標準学生として入学後、やむを得ない理由で長期履修学生への変更を希望する者は、研究科委員会で認められた場合に限り、2年次進級時に長期履修学生に移行することができます。この場合、修業年限は3年または4年とします。

3 再入学者について

再入学者についても、研究科委員会で認められた場合に限り①、②の申請が可能です。ただし、再入学の時点および2年次以上に再入学した場合はこの変更はできません。

TOPICS

2 各種奨励金制度

https://www.jissen.ac.jp/learning/support/index.html#anc3_1



大学院在学中の研究活動をサポートするため、3つの奨励金制度を導入しています。

在学中から学会に参加したり、学会誌等に論文を投稿したりするなど、研究活動を積極的に行うことは、皆さんの論文作成や進路選択にとって、たいへん役立ちます。

これらの奨励金制度を有効に活用して、充実した大学院生活を送る手助けとしてください。

大学院学会奨励金（対象：修士課程・博士後期課程）

学会に参加する際の交通費、宿泊費や参加費等を助成する制度です。

	種類	支給額（一律）	支給回数上限 [※]	
			修士・博士前期課程	博士後期課程
1	参加のみ	20,000円	年次毎に いずれか1回まで	年次毎に いずれか2回まで
2	発表あり(国内)	50,000円		
3	発表あり(海外)	100,000円		

[※]修業年限を超えて在籍する者は、年次毎にいずれか1回までの申請上限とする。

[※]「発表」には、ポスター発表を含む。

[※]オンライン開催の学会に参加した場合は、以下の取扱いとする。

発表ありの場合：参加費の有無を問わず「発表あり（国内）」の区分で支給。

参加のみの場合：参加費が有償のものに限り「参加のみ」の区分で支給。参加費が無償の場合は、対象とならない。

大学院論文投稿支援金（対象：修士課程・博士後期課程）

学会誌や学術誌への論文投稿にかかる費用を助成します。

要件

本学大学院の学生として投稿する場合に限る。

共著の場合は、筆頭著者として投稿した論文であること。

支給基準

論文作成・投稿経費（実費：上限50,000円／年）



作成にかかる翻訳料、英文等校閲料、または投稿料、掲載料、オープンアクセス料等別刷・抜刷代（実費：上限10,000円／年）

大学院博士後期課程奨励金（対象：博士後期課程）

博士後期課程に在籍する若手研究者の研究活動費全般を助成します。

[※]申請者は研究計画を提出し、学内会議での審査を経て承認される必要があります。

支給額 150,000円（年額・奨学金として）



3 リサーチ・アシスタント制度

https://www.jissen.ac.jp/learning/support/index.html#anc5_1



大学院博士後期課程の在学者を対象として、RA(リサーチ・アシスタント)の制度を導入します。

RAに任用されることで、本学の研究プロジェクト等に補助者として参加し、給与を得ながら、研究活動に携わることができます。

● RA (リサーチ・アシスタント)とは……

優秀な博士後期課程の大学院生が、大学が行う研究プロジェクト等に研究補助者として参画し、これに対する手当ての支給を受けることにより、研究遂行能力の育成や研究体制の充実を図るものです。(文部科学省の定義より)

要件

- 本学の大学院博士後期課程に在籍していること。(2023年4月時点)
- 本学が行う研究プロジェクト等に参加し、年度内に6か月以上、研究補助業務に携わること。
- 将来、研究者になる意欲と優れた能力を有すること。

待遇

- 給与 時給2,000円
- 勤務時間 週15時間かつ年間360時間を上限とする。
- 通勤交通費 原則は支給無し。(ただし長期休暇中の勤務については、所属キャンパスまでの交通費実費を支給。)
- ※その他、本学規定による。

手続

必要書類(採用計画書、履歴書)をもとに所属する研究科の会議で審議し決定する。
詳細は指導教員と相談のこと。

4 学外研究資金の獲得支援

https://www.jissen.ac.jp/learning/support/index.html#anc6_1



学外団体が公募する研究資金の獲得は、安定した大学院生生活や、研究活動の高度化につながります。
本学では次のような取組みにより、学外研究資金の獲得支援を行います。

- 学外研究資金に関する情報発信の強化
- 学外研究資金の申請書類作成支援
- 日本学術振興会特別研究員の申請書類作成支援
- 学外研究資金の申請に関する相談窓口の設置(研究推進室)



2023年度入学学費等納付金は、以下一覧をご参照ください。(学費の消費税は非課税です。)

■ 標準修業年

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計	
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費					
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080	
		美術史学専攻	博士後期課程	230,000	350,000	45,000	3,120	628,120	395,000	1,023,120	
		英文学専攻	修士課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080	
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	115,000	350,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	465,000	—	465,000	
			博士前期課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080	
			博士後期課程	230,000	360,000	45,000	2,080	637,080	405,000	1,042,080	
		生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	230,000	360,000	45,000	3,120	638,120	405,000	1,043,120
			生活環境学専攻	修士課程	230,000	360,000	45,000	2,080	637,080	405,000	1,042,080
			研究生	115,000	360,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	475,000	—	475,000	
	内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080
			美術史学専攻	博士後期課程	50,000	350,000	45,000	3,120	448,120	395,000	843,120
			英文学専攻	修士課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080
人間社会研究科		人間社会専攻	修士課程	57,500	350,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	407,500	—	407,500	
			博士前期課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080	
			博士後期課程	50,000	360,000	45,000	3,120	458,120	405,000	863,120	
		生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080
			生活環境学専攻	修士課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080
			研究生	57,500	360,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	417,500	—	417,500	
備考				入学時1回	後期授業料は前期と同額 (※1)研究期間が6ヶ月の場合は半額	年額 90,000	入学時1回 ※修業年限により異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。

■ 長期履修(3年)

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費				
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
		美術史学専攻	修士課程	230,000	230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
		英文学専攻	修士課程	230,000	230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
	生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	230,000	240,000	30,000	3,120	503,120	270,000	773,120
		生活環境学専攻	修士課程	230,000	240,000	30,000	3,120	503,120	270,000	773,120
		研究生	115,000	240,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	455,000	—	455,000	
内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
		美術史学専攻	修士課程	50,000	230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
		英文学専攻	修士課程	50,000	230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	50,000	230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
			博士前期課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120
			博士後期課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120
備考			入学時1回	後期授業料は前期と同額	年額 60,000	入学時1回 ※修業年限により異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。

■ 長期履修(4年)

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費				
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
		美術史学専攻	修士課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
		英文学専攻	修士課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
	人間社会研究科	人間社会専攻	博士前期課程	230,000	180,000	22,500	4,010	436,510	202,500	639,010
			博士後期課程	230,000	180,000	22,500	4,010	436,510	202,500	639,010
			研究生	115,000	180,000 ^{[年額] (※1)}	—	—	436,510	—	436,510
内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
		美術史学専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
		英文学専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
			博士前期課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010
			博士後期課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010
備考			入学時1回	後期授業料は前期と同額	年額 45,000	入学時1回 ※修業年限により異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。